

Platys

[プラティス]

KDU COMMUNICATION MAGAZINE

Special Number

特別号
2026.4

広報誌タイトル
「Platys」の由来

医聖ヒポクラテスは、紀元前にギリシャのコス島のプラタナス（スズカケノキ）の木陰で弟子たちに医学・医術、医の倫理を説いたといわれ、本学にはプラタナスの木とコス島から運んだ巨石があります。プラタナスの語源はギリシャ語の「platys（広い）」であり、大きな葉や広がる枝に由来します。学生たちの豊かな成長と、九州歯科大学の繁栄を願い、「Platys」と命名しました。

九州歯科大学×到津の森公園 コラボイベント

ずーっと はっぴー教室

～動物といっしょに“食べる・噛む・笑う”を学ぼう！～



公立大学法人

九州歯科大学

九州歯科大学×到津の森公園 コラボイベント

ずーっと はっぴー教室

～動物といっしょに“食べる・噛む・笑う”を学ぼう！～

開催されました！

日時：令和8年1月12日（月・祝）

会場：到津の森公園 モルモットハウス

九州歯科大学は、「地域と連携し、教育・研究・医療を通して地域社会の健康づくりに寄与する」を理念に掲げています。

その実践の一環として、地元・北九州市の到津の森公園と連携し、体験型イベント「ずーっとはっぴー教室」を開催しました。

本イベントは本学が発案した新たな地域連携の取り組みで、歯科医師・歯科衛生士をめざす

学生アンバサダーが中心となり、企画・運営・広報までを担いました。

人形劇とクイズで学ぶ「歯」と「健康」

イベントでは、「歯（口腔）」と「健康」「食べる力」のつながりをテーマに、オリジナル人形劇とクイズを実施しました。

人形劇では、子どもたちに親しみのあるキャラクターや動物が登場し、人と動物それぞれの歯の役割や特徴を紹介。専門用語を使わず、効



果音やBGMも取り入れながら、楽しみながら自然と学べる構成にしました。子どもだけでなく保護者の方にも「食育」についての知識を還元する内容になりました。

クイズでは、子どもが考えながら参加できる工夫を凝らし、象の歯に関する問題では実物の歯に触れる体験も実施。その大きさに驚く声があがるなど、会場は大いに盛り上がりました。



来場者の反響

アンケートでは、

「小さい子にもわかりやすかった」

「子どもだけでなく大人も楽しめた」

「家族で歯について話すきっかけになった」

といった声が多数寄せられました。

学生が主体となって運営したことで、「親しみやすい」「安心感がある」という評価も多く、地域との新たな接点づくりの場となりました。



学生にとっての実践の場

今回のイベントは、単なる地域イベントではなく、学生が大学で学んだ専門知識や教育内容を地域で活かす実践の機会となりました。

口腔保健学科では、子どもにわかりやすく伝える方法を授業で検討しており、今回の人形劇もその学びを活かしたものです。

歯学科で学ぶ専門知識も、人と動物の比較という形でわかりやすく再構成し、教育的にも大きな成果が得られました。



今後に向けて

九州歯科大学は今後も、地域と連携した教育・啓発活動を継続していきます。

学生が地域の中で学び、その成果を社会へ還元する循環を通して、次世代の歯科医療人の育成と地域社会への貢献を両立してまいります。



今回のイベントに参加して



大川小百合（歯学科5年）

到津の森公園と九州歯科大学のコラボ企画として、人間と動物の歯の違いをテーマにした人形劇やクイズを行いました。子どもが楽しめる企画や集客方法を考える中で、多角的に物事を考える力が身につきました。イベントを通して、子どもたちに歯への関心を持ってもらえたと感じており、アンケートで得た意見を今後の活動に活かしていきたいです。



小野 聖弥（歯学科5年）

人形劇やクイズを通して、子どもたちや保護者の方、そして私自身も楽しみながら歯の大切さを共有することができました！食育や歯みがきの大切さを、参加してくれた子どもたちとご家族の皆さんが笑顔で学んでくれて、とても嬉しかったです。



相馬 瑠稀 (歯学科4年)

多くの子ども連れのご家族に参加していただき、終始和やかで楽しいひとときを過ごすことができました。人形劇やクイズでは、お子さんが積極的に参加し、楽しんでいる様子が印象的で、とても嬉しく感じました。今後も口腔衛生に関する地域活動に積極的に参加していきたいと思いました。



神本 大輝 (歯学科2年)

人形劇のキャラクターになりきってセリフを言うために、膨大な時間と努力が必要ではありましたが、その子ども達の笑顔を見ることができて、清々しい気持ちでいっぱいです！素晴らしい機会をいただきありがとうございました！



緒方 優（口腔保健学科3年）

当日はかなりの寒さだったため、参加者が少ないのではないかと心配していましたが、会場がいっぱいになるほどの盛況ぶりです。嬉しかったです。クイズ企画は当日初めて拝見しましたが、大人でも分からないようなひねりのある問題もあり、子どもはもちろん、大人も一緒に楽しむことができる企画でした。楽しそうに参加する子どもたちの姿を見て、活動に参加して本当に良かったと感じています。



清水 瑚乃美（口腔保健学科3年）

今回到津の森公園とのコラボイベントに参加させていただきました。多くの方に来ていただき、たくさん反応してくれる子どもたちの姿を見て、私たち自身もとても楽しかったです。普段「自分の歯の形」についてあまり意識することはないかもしれませんが、今回のイベントから歯のことについて知ってもらい、少しでも歯を大切にしようと思ってもらえたら嬉しいです。



進 千晴（口腔保健学科3年）

私は企画段階から参加し、0から作り上げる楽しさを強く感じました。先生や先輩、同級生と色んな世代・立場の方と一緒に1つのものを作り上げるにあたって、自分だけでは思い浮かばない面白いアイデアやそれぞれの経験を活かして、「私たちだけのアイデア」が誕生したと思います。また、到津の森公園とコラボしたことで、動物や動物園のことを知ることができ、自身の知識や経験を深める貴重な機会にもなりました。



鶴丸 碧（口腔保健学科3年）

最初は少し緊張しましたが、子どもたちの楽しそうな反応や笑顔に触れるうちに、緊張がほぐれて楽しく活動することができました。相手の年齢や興味に合わせてわかりやすく伝える工夫をすることで、子どもたちの学びにつながる嬉しさを感じると同時に、自分自身も多くのことを学びました。この経験を大切に、これからも笑顔で寄り添える歯科衛生士を目指したいです。



豊留 愛彩（口腔保健学科3年）

到津の森公園とのイベントには、寒さが厳しい中、想像以上に多くの方に参加していただき、大変嬉しく思いました。企画を通して、人間と動物の歯の違いや役割について、楽しみながら学んでもらうことができたのではないかと感じました。子どもたちが噛むことの大切さや、好き嫌いせずにバランスよく食べる重要性を理解してくれていれば嬉しいです。今後も地域と連携した活動に積極的に参加していきたいと感じました。



南條 咲樹（口腔保健学科3年）

到津の森公園は、幼い頃から遠足などで何度も訪れていた思い出の場所です。今回、このような場所でイベントの企画から関わることができ、大変貴重な経験となりました。当日は多くの方にご参加いただき、劇やクイズに子どもたちが元気に反応してくれる様子から、楽しんでいただけていると実感できました。



細木 もも（口腔保健学科3年）

今回、到津の森公園においてイベントを通じ保健指導を実施する中で、地域の皆様が歯や口腔の健康に対して、想像以上に高い関心をお持ちであることが印象的でした。また、人形劇やクイズにも積極的な反応が見られ、大変やりがいを感じられる保健指導となりました。この貴重な経験を、今後の活動にもぜひ活かしていきたいです。



向井畑心実（口腔保健学科3年）

人形劇に対して、ところどころから反応が返ってきたことがとても嬉しかったです。クイズ大会にも積極的に参加してくれる子どもたちが多く、今日伝えたかったことが、参加してくれた皆さんの心に少しでも残っていただけたらいいなと思いました。

